



# やまびこ 通信

皆さまの **声** を  
ダイレクトに  
市政へ

日頃より、皆様の温かい支援のおかげで、私は伊勢崎市議会議員としての責務を全うすることができております。私の活動の原点は、地域の皆様との対話を大切にし、皆様の声を市政に反映させることにあります。これからも、市民一人一人が安心して暮らせる社会の実現を目指して努力して参ります。

## もっと身近に。

### 伊勢崎市議会議員

# やまこし 山越 きよひと 清彦

## 今年度可決された 伊勢崎市 北部の主な県道道路事業

- **県道伊勢崎大胡線(波志江町三丁目交差点)交差点改良**  
大胡県道と北部環状線との交差点改良が令和11年度までに着手。渋滞の解消が期待されます。
- **県道苗ヶ島飯土井線(波志江スマートICアクセス)道路新設(継続事業)**
- **県道伊勢崎大胡線(波志江町工区)歩道整備(継続事業)**

## 委員会の視察をしてきました

- **富山県富山市(7/10)**  
まちなか総合ケアセンターについて
- **富山県氷見市(7/11)**  
まちなか回遊促進モビリティによる観光振興について
- **富山県黒部市(7/12)**  
下水道バイオマスエネルギー活用事業について



## 伊勢崎市 令和7年度 新予算案が議決されました!!

一般会計当初予算 (対前年度比+3.3%) **919億1,000万円** 過去最大の  
予算規模

### 重点政策ピックアップ

☆は新規

- ▶ **学校給食費の無償化☆** ..... **413,790**千円  
中学生の学校給食費を無償化 ..... 413,790千円
- ▶ **防災・減災事業☆** ..... **1,674,214**千円  
WEB版ハザードマップの機能追加 ..... 2,519千円  
防災アプリの導入 ..... 5,717千円  
本庁舎に太陽光発電 ..... 195,448千円  
システム・蓄電池を設置
- ▶ **多文化共生事業☆** ..... **132,287**千円  
(仮称)多文化共生センターを開設 ..... 13,000千円
- ▶ **官民協働の推進☆** ..... **5,775**千円
- ▶ **不妊治療費助成金・不育治療費助成金** ..... **29,500**千円
- ▶ **家庭ごみ戸別収集事業** ..... **16,488**千円
- ▶ **中心市街地にぎわい創出拠点整備事業** ..... **467**千円
- ▶ **防犯カメラの整備** ..... **26,124**千円

### 主な経歴

- 昭和 46年 6月11日 生まれ (53歳)
- 昭和 58年 伊勢崎市立三郷小学校卒業
- 昭和 62年 伊勢崎市立第三中学校卒業 柔道部
- 平成 2年 群馬県立伊勢崎東高校卒業 25期空手部 (現 群馬県立伊勢崎高校)
- 平成 5年 近畿日本ツーリストグループ入社
- 平成 16年 近畿日本ツーリストグループ笠懸営業所 店長にて退社
- 平成 17年 衆議院議員 公設第一秘書となる
- 平成 22年 伊勢崎市議会議員 初当選
- (平成 25年 文教福祉委員会 / 副委員長)
- 平成 26年 伊勢崎市議会議員 二期目当選
- 令和 3年 伊勢崎市議会議員 三期目当選
- 令和 4年 伊勢崎市議会議員 四期目当選
- 令和 5年 総務委員会 / 委員長
- 令和 6年 経済市民委員会 / 委員長

### 主な所属(役職)

- 三郷地区体育推進員本部役員
- 伊勢崎ボランティア協会 会員
- 三郷小学校元 PTA 会長
- 三郷小・第三中学校読み聞かせボランティアメンバー
- 波志江町二丁目岡屋敷組屋台囃子保存会 会員
- 伊勢崎空手道教室 玄友館 副代表
- 伊勢崎市消防団9の1分団員
- 伊勢崎市交通安全協会三郷支部会員
- 相川考古館史蹟会会員
- 伊勢崎青年会議所シニアクラブ会員
- 伊勢崎絆ライオンズクラブ会員

趣味 / 映画鑑賞・オカリナ・インディアカ・サイクリング  
特技 / 空手道三段 柔道初段  
好きな食べ物 / スイカ 血液型 / B型





## いつも地域と共に

高齢者や地域の伝統文化を大切にしながら、次世代を担う子ども達の心と身体の安全を守り、活気ある地域へ導きます。

### 令和5年3・9月議会報告

各定例会において、以下の質問を行いました。

#### ■ 高齢者の認知症について

<山越 質問> 認知症の症状として徘徊があるが、高齢者が徘徊して行方不明になった場合の市の対応は。



<市長 答弁> 行方不明になる心配がある方の氏名や身体的特徴、連絡先等を事前に登録する徘徊高齢者等事前登録制度や位置情報を確認できる小型のGPS機器を貸し出す徘徊高齢者等位置情報サービスを行っています。

また、年1回、認知症高齢者等徘徊保護対策訓練を実施しています。平成28年には、伊勢崎警察署と認知症高齢者等の徘徊及び保護対策に関する協定を締結し、連携及び情報の共有を行う体制を整えており、上州くん安全安心メールで本市の高齢者に関する行方不明者情報が送信された場合は、いせさき情報メールで配信し、早期発見につながるよう努めています。今後も、認知症サポーターの養成を進め、地域や警察等関係機関と連携して見守りネットワークの強化を図り、徘徊高齢者を早期発見できる地域の体制づくりを推進していきます。

#### ■ 地域伝統文化の保護について

<山越 質問> 本市の有形民俗文化財である波志江の屋台は雨ごいや五穀豊穡を願って引き出され、波志江町では波志江祇園祭として実施されている。このような由緒伝統ある文化を守ることは、地域の活性化や人材育成にも重要であるが、伝統文化の保護や継承、催し物や祭りに対する補助制度も含めた支援策は。



<市長 答弁> 行政区の催しに係る費用は主催者の費用負担による自主運営をお願いしているため、助成制度の新設は考えていません。文化財保護の観点から、屋台の修理やおはやしの継承等を行う際には費用の一部を補助しており、また、文化庁、県及び民間団体による補助制度を紹介し、市が申請の支援を行っています。文化財の保存、継承等を確実に

行い、将来へお祭りが継承されるよう支援していきたいと考えています。



### 令和6年3・9月議会報告

各定例会において、以下の質問を行いました。

#### ■ 通学路の危険箇所の対応について

<山越 質問> 通学路の安全は重要であり、過去の児童・生徒の交通事故を受け、国の指針に基づき本市でも「伊勢崎市通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関と協議し危険箇所の改善を進めている。しかし、依然として事故が発生しており、安全対策は継続的に重点施策とし、改善状況を保護者や市民に報告する必要がある。現在の対応状況はどうか。

<教育長 答弁> 毎年4月に各学校園へ通学路の危険箇所の改善要望を依頼し、令和5年度は127件の提出がありました。これを通学路安全対策協議会で共有し、担当部署が現地調査や合同点検を実施しました。令和5年度は91件の対策を実施予定で、そのうち80件は令和5年度中に対応しました。主な対策は標示の塗り直しや注意喚起の看板設置、パトロールなどです。設置困難な36件については対策を見送り、各学校園に安全指導を依頼し対応しています。



#### ■ 不登校対策における今後の方向性は

<山越 質問> 不登校対策における支援体制の評価と今後の方針は。

<教育長 答弁> 本市では全校に1人ずつスクールカウンセラー、6中学校区に1人ずつスクールソーシャルワーカーを配置し、心理的支援や福祉機関との連携を行っています。近年、スクールソーシャルワーカーの利用が増加し、県に全中学校区への配置を要望中です。さらに、全校に学校教育相談員、教育研究所に臨床心理士を2人配置し、専門性の連携を強化して支援体制の充実を図ります。

#### ■ クビアカツヤカミキリについて

<山越 質問> 被害を最小限に抑えるために追加対策が必要と考えるが今後の対策は。

<市長 答弁> 広報等で注意喚起や情報提供と周知の強化を図ります。また、拡大状況の推移を考慮しながら他市の取組を調査研究していきます。

#### ■ その他の質問

- 伊勢崎市誕生20周年について
- 放課後児童健全育成事業について
- 職員の管理について
- 市北西部地域の将来像について
- 滞在型観光のための回遊促進事業について
- 外国籍の消防団員について

### 令和7年3月議会報告

3月定例会において、以下の質問を行いました。

#### ■ 児童・生徒の交通安全について

<山越 質問> 子供たちの命を守るために適正な交通規制や安全対策が必要だが、生活道路における車両の速度を抑制するゾーン30の今後の設置計画は。また、その効果は。

<市長 答弁> 今後の計画は、三郷地区区長会から三郷小学校及び第三中学校周辺の御要望をいただいております。令和8年度の指定に向け協議を進めています。また、効果の測定については、令和3年に警察庁が発表した導入効果は、平成30年度末までに全国で整備したゾーン30、3649箇所において、整備前年度と整備翌年度の交通事故発生件数を比較したところ、発生件数は23.9%減少しており、一定の交通事故の抑止効果が認められています。



<山越 質問> 児童・生徒への交通安全教育は。  
<教育長 答弁> 学校生活の節目において、交通安全について学ぶ機会を設けるとともに、伊勢崎警察署や交通指導員の御協力の下、交通安全の指導を行い、子供たちの意識を高めています。

#### ■ 本市から本庄間のシャトルバス運行について

<山越 質問> 本庄市までの移動手段の選択肢を増やすことは重要だが、交通混雑の解消や利便性の向上が地域経済の活性化につながり、両市のさらなる発展のためにもシャトルバスを導入する考えは。

<市長 答弁> 本市としては、移動の需要や利用者の動向を注視しながら、関係自治体や交通事業者と連携し、最適なバスの運行ルートなど調査研究していきます。

#### ■ 波志江スマートICの周辺開発について

<山越 質問> スマートIC周辺開発は、地域経済の活性化や観光振興に重要であり、大型商業施設の誘致も有力な選択肢の一つと考える。上武国道と北関東自動車道が交わる地点であることを最大限に生かすための今後の展望は。

<市長 答弁> 全市的な視点から周辺環境との調和が図られた土地利用の方向性を検討していきます。

皆さまの声が私の活動の原点です。ぜひ、皆さまの声をお寄せください。

やまこし清彦連絡先

〒372-0001 伊勢崎市波志江町177-8

携帯:090-2768-1138 FAX:0270-22-1138

E-mail: kiyohiko@k-yamakoshi.jp

U R L: http://k-yamakoshi.jp



ホームページ